

ディジー太郎 様 診 断 書

診断

- ①自閉症スペクトラム障害 ⑧による (②a, b, c, ⑤⑥⑦⑨⑩⑪⑫ も支持する)
②注意欠陥多動障害 (混合型) ⑦による (②aも支持する)

解説: (第1回診断) 就学前なのでディスレクシア診断なし

認知・行動特徴まとめ

言語関連

①初期言語発達の遅れなし (始語12m、二語文2歳頃; 健診での指摘なし)。

②現在の様子

- a) 理解: 相手の話を聞くことが苦手。一斉指示も伝わりにくい。
b) 表出: 語彙が少なく、説明がわかりにくい。独り言が多い。
c) 会話: その場に合わないことを話したり、会話が噛みあいにくい。

精神発達・知的水準

③田中ビネー式知能検査 (CA=5:2 ※〇〇で実施) IQ=110 基底年齢4歳 上限6歳

④K-ABC II (当院で実施) CA=5:4

●認知総合尺度82

継次86 (数唱12 語配列5 手の動作7)

同時80 (顔さがし11 絵の統合8 模様構成4) 学習94 (語の学習7 学習遅延11)

●習得総合尺度76

語彙75 (表現語彙8 なぞなぞ7 理解語彙3) 算数89 (数的推論8)

運動発達

⑤粗大運動: やや苦手 ⑥微細運動: 不器用

注意欠陥多動性障害関連症状

⑦不注意 (a~i) 多動性 (a, (c) (f)) 衝動性 (h, i)

広汎性発達障害関連症状

⑧対人関係 (a, b, c, d) 意思伝達 (b, c, d) 常同の様式・固執 (a, b, c)

⑨乳幼児異常行動歴陽性項目: 2, 5, 18, 19, 21, 22

その他

⑩パニック・痙攣: 家では思い通りにならない時などに痙攣を起こすが、園ではなし。

⑪聴覚過敏

⑫睡眠覚醒リズムの乱れ: 乳児期寝つき悪く、1歳半まで夜泣きが多かった。現在は寝つき良い。

⑬同年齢児に比べると文字を読むのが遅い傾向がある。

療育・治療方針

注意欠陥多動性障害を合併する自閉症スペクトラム児としての療育支援が必要である。

①言語療法を開始する。

②6歳を目途に中枢刺激剤を服用を検討する。

2025/04/01

平谷こども発達クリニック

担当医 平谷 美智夫

行動特徴・認知機能まとめおよび診断と治療方針

氏名 デイジー太郎 氏名カナ デイジータロ イニシャル

カルテ番号 00001 生年月日 09. 1. 1 初診日 15.1.1

主訴・初診までの経過・成育歴・身体所見
＜主訴＞

①集団生活で行動が遅れる ②一斉指示が伝わらない

＜経過＞

在胎38週5日、体重2746g、身長48.5cmで出生。周産期異常なし。
頭定3ヶ月、寝返り4ヶ月、座位6ヶ月、はいはい9ヶ月、独歩14ヶ月。人見知りあまり覚えていない。乳児期はなかなか寝つかなかった。4ヶ月頃いったん寝るようにはなったが、またすぐ夜泣きが始まり、抱っこから降ろすすぐ泣いた。音にも敏感だった。1歳半ごろに卒乳、それからぐっと寝るようになった。
有意意味語12ヶ月。2語文2歳頃。単語が出始めるのが早く、言葉はあまり気にならなかった。1歳半健診、3歳児健診指導なし。
2歳（1歳児クラス）から〇〇保育園入園。集団行動を嫌がり一人で外れて遊ぶことが多かったよう。絵本の読み聞かせの場面でも戦いごっこをしたりしていた。朝は行きたくない、帰りは保育園から帰りたくないと言い、家から10分の距離なのに帰りは1時間かかった。保育園から玄関に行くのも時間がかった。
転居のため年少から〇〇保育園に転園。はじめは周りについていこうとする様子がみられた。年中になって保育士から戦いごっこが多いこと、集団行動で遅れがちなこと、一斉指示が伝わりにくいことなどを指摘された。遠足のときも、みんながダンスをする時間に戦いごっこをしていた。保育士の指示が自分のことと感じていないようだった。園庭で遊んでいて保育士がお部屋に入りますよと言ったときに、他児もいなくなっているにも本児1人で遊んでいるのを見て、周りが見えないのだと思った。
園で数か月に1回、〇〇の先生が園を見て保護者と話をするという取り組みがあり、担任の勧めで相談。関わり方のコツ（開始と終了を明確に、遊びに介入するなど）を教えてもらった。受診を勧められたわけではないが、担任保育士に相談し医療機関受診を決めた。
平谷C1に申し込んだが予約待ちが長かったこと、これまで当クリニック小児科外来で川谷Drに診てもらっていたことから、先に8月に福井医大小児科受診した。田中ビネー式知能検査実施（CA=5:0）IQ=103（基底4歳、上限6歳MA=5:2）PARS 幼児期ピーク19点 幼児期現在12点。11月にASD、ADHD疑い（就学の頃に見直し）と言われた。今後は3ヶ月に1回の診察の予定。平谷クリニックに受診した結果を1月に伝えることになっている。脳波検査実施、異常なし。
家で困ることは特にない。下の子にも、お兄ちゃんとして先に行動してみせたりお話をしてくれたりする。母の指示も伝わるが多い。ただ、外出時にはハイテンションになって周りが見えなくなり、大きい声を出したり走り回ることがある。
小学校入学後のことが心配で、今できることはなんでもやらせたいと思いい、受診を決めた。

＜身体所見＞

現在身長 105 cm
現在体重 19 kg

＜利き手＞

＜運動神経＞

粗大運動：やや苦手

両足ジャンプや片足ケンケンぎこちない。

微細運動：不器用

折り紙や箸の使用苦手。

＜家族歴＞

両親、本児、妹（2歳）

性別 男 年齢 5歳 担任

記載日:25.4.1 所属 〇〇保育園 〇〇先生

＜園・学校の様子＞

【特に気がかりなこと】
・その場に合っていないことをずっと話し続ける。会話がかみあわないことがある。
・じっとしていることが難しい。
・マイペースで周りの状況を見て動くことが苦手。
【行動特徴】
・毎日の身の回りの始末にとっても時間がかかる。
・視線が合いにくく、その場でくるくるまわる。
【対人関係】
・数人で遊んでいる中に入りたいとき、本人が「まーじって」といい、他の子は「いいよ」と返事をしている。しかし、本人は特定の子に言っていて、その子が「いいよ」と言わないのでまじってくれないと思ってしまう。
【ことば・かず】
・ゆっくりだが自分の知っている言葉で話そうとする。
・「いや」「やめて」などは言えるようになってきたが、「〇〇だからやめて」と理由を伝えることはない。
・友達が「やめて」「いや」と言ってもなぜいやはわかっていないようで、いやがることを繰り返す。説明してもきょんとした顔をしていることがよくある。
・会話はかみあわない。
・数は、5までは対応できる。
【知覚・運動】
・夏にまぶしそうにすることがあり、眼科受診した。
・呼んでも聞こえていない様ときもある。
・表情もあまりない。
・折り紙をきちんと合わせて折るのは苦手。
・はしはつまめないで現在練習中。食事のたべこぼが多い。
・両足をそろえてとんだり片足ケンケンもぎこちないが、体操教室や毎日の遊びの中でくり返すことで少しずつできるようになってきている。
【興味関心】
・一人での戦いごっこ（イメージしながら）。
・新聞広告での作り物が好き。興味の幅は狭い。
【その他、気がかりなこと】
・「〇〇ちゃんは弱い人」など相手がいやだと言っても言い続ける。

＜成育歴＞

周産期異常:

発達異常 :

在胎: 38 週 5 日 額定: 3 ヲ月 始語: 12 ヲ月
体重: 2746 g 座位: 6 ヲ月 2語文: 24 ヲ月
身長: 48.5 cm 歩行: 14 ヲ月 人見知り: ? ヲ月

1・6健診 :指摘無し

3歳健診 :指摘無し

脳波: 脳波所見:

エピソード:

エピソード詳細:

微細神経学的徴候:

閉眼片足立ち: 輻輳反射:
右 左

眼球運動:

左右認知:

自分:
相手:

対相手:

<M-CHAT> (乳幼児期自閉症チェックリスト修正版)(3歳以下)

通過項目	/23項目
2.他児への関心	13.模倣
7.興味の指さし	14.呼名反応
9.興味ある物を見せに持ってくる	15.指さし追従

<感覚プロフィール>

セクション	セクションスコア合計	分類	セクション	セクションスコア合計	分類
触覚過敏性	/35		聴覚フィルタリング	/30	
味覚・嗅覚過敏性	/20		低活動・弱さ	/30	
動きへの過敏性	/15		視覚・聴覚過敏性	/25	
低反応・感覚探究	/35		合計	/190	

言語・認知・知能・学業・記憶・情緒・人格:

<会話>

・初期言語発達の遅れなし（始語12m、二語文2歳）。健診での指摘なし。

・表出：語彙が少なく、説明がわかりにくい。

・空想の世界に入ったり、ストーリーをつぶやいて独り言を言ったりすることが多い。今まではあまり気にならなかったが、園で保育士や友だちに「給食中、急にきりんの話をした」などと言われてから気になるようになった。

・理解：一斉指示伝わりにくい。会話がかみ合わないことがある。

<書字言語>

・読み：ひらがなは一部読める。他の同年齢児に比べるとつかえながら読むと母は感じている。

・書き：まだ書けない。1文字を書くのにすごく時間がかかり、やる気が続かない。絵を描くのは好き。ドラえもののハンカチを見ながら絵を描いたりしていた。

環境要因:

痙攣の既往3回あり（2,3,4歳時；年に1回）。発熱時に全身的痙攣。3歳の時は左右非対称で複雑型痙攣と言われた。脳波検査受け、異常なし。喘息の既往あり。

睡眠覚醒リズム障害:

・乳児期寝つき悪く、1歳半で卒乳するまで夜泣きが多かった。

・現在は、22時前に就寝、7時すぎに起床。寝つきよし。夜間覚醒なし。めざめよし。

<PARS> (親面接式自閉スペクトラム症評定尺度)

就学前	小学生・中学生
現在評定:	現在評定:
幼児期ピーク評定:	幼児期ピーク評定:

知能検査:

田中ビネー 知能検査Ⅴ	CA= 5:2 実施日	IQ= 103	基底年齢= 4歳	
WISC-Ⅳ	CA=	FSIQ=	実施日	
	VCI=	PRI=	WMI= PSI=	
新版K式 発達検査	施行年齢 実施日	運動DQ 認知DQ	言語DQ 全領域DQ	
STRAW-R(読み書きスクリーニング検査)				
実施日	音読課題		書取課題	
	得点(20個中)	SD	得点(20個中) SD	
ひらがな一文字課題				
カタカナ一文字課題				
ひらがな単語課題				
カタカナ単語課題				
漢字単語課題				
稲垣式音読検査 実施日	遂行時間		読み誤り	
	時間(秒)	SD	読み誤り(個)	SD
単音連続読み課題				
有意味単語速読課題				
無意味単語速読課題				
単文音読課題				

検査時の様子

●田中ビネー※〇〇で実施

●K-ABC II (H26.1.1)

・認知総合尺度82 継次86 (数唱12 語配列5 手の動作7)

同時80 (顔さがし11 絵の統合8 模様構成4) 学習94 (語の学習7 学習遅延11)

・習得総合尺度76

語彙75 (表現語彙8 なぞなぞ7 理解語彙3) 算数89 (数的推論8)

学業関連

※検査時の様子

・全般に集中。自信がないと反応をためらっていたが、後半わからなくても挑戦したり答えている。教材を出すと衝動的に手が出る場面あり。

ADHD(注意欠如・多動性障害)関連症状

不注意

00001 デイジー太郎

ADHD-RS
保護者 担任 Dr

具体的なエピソード(保護者・担任による)

1	学業、仕事、またはその他の活動中において、しばしば綿密に注意することができない、または不注意な過ちをおかす		2		<園>・毎日の身の回りの始末に時間がかかる。何をすればいいかわからなくなるよう。脱いだものか新しいものか、わからなくなる。
3	課題または遊びの活動で注意を集中し続けることがしばしば困難である	2	3		<家>・好きな遊びは長く続くが、チャレンジの教材に取り組みせると興味がないと10分もたない。
5	直接話しかけられたときにしばしば聞いていないように見える	3	3		<家>・考え事をしているのか、話しかけたときに聞き直してくることが多い。 <園>・呼んでも聞こえていないような時がある。
7	しばしば指示に従えず、学業、用事、または職場での義務をやり遂げることができない(反抗的な行動または指示を理解できないためではなく)	2	2		<園>・リレーで反対向きに走っていた。
9	課題や活動を順序立てることがしばしば困難である	3	2		<家>・うっかり。3つ指示を出すと1つくらい抜けてしまう。
11	学業や宿題のような精神的努力の持続を要する課題に従事することをしばしば避ける、嫌う、またはいやいや行う	2	2		<検査場面>・模様構成では、細かい向きなどに気を払うのが難しい様子だった。
13	例えばおもちゃ、学校の宿題、鉛筆、本、遊具など、課題や活動に必要なものをしばしばなくす		3		
15	しばしば外からの刺激によって容易に注意をそらされる	3	3		<検査場面>・全般に集中して取り組めた。同じ問題が長く続くと、集中力が落ちる様子はみられた。
17	しばしば毎日の活動を忘れてしまう	2	3		
不注意合計点		17	23		

多動性・衝動性

2	手足をそわそわと動かし、またはいすの上でもじもじする	3	3		<家>・そわそわしていることが多い。ショッピングセンターや慣れた場所ではじっと座ってられない。奇声をあげたり体を動かす。
4	教室や、その他、座っていることを要求される状況で席をはなれる		0		食事は落ち着いて食べられる。<検査場面>・全般に集中して取りくみ、離席などはみられなかった。
6	不適切な状況で、余計に走り回ったり高い所へ登ったりする(青年または成人では落ち着かない感じの自覚のみに限られるかもしれない)	2	0		
8	静かに遊んだり余暇活動につくことができない	0	0		
10	“じっとしていない”、またはまるで“エンジンに動かされているように”行動する	1	0		
12	しばしばしゃべりすぎる	0	2		
14	質問が終わる前に出し抜いて答えてしまう	0	1		<検査場面>・教材を出す時衝動的に手が出る場面があった(模様構成)。
16	順番を待つことが困難である	2	3		<家>・妹になぞなぞを出したときに、「待っててね」といっても本児が先に答えてしまう。
18	他人を妨害し、邪魔する(例えば、会話やゲームに干渉する)	1	3		
多動性・衝動性合計点		9	12		

メモ欄

<自閉スペクトラム症関連症状>DSM-5

社会的コミュニケーション-対人的相互反応

a,b,c,d

00001 デイジー太郎

1a)相互の対人的-情緒的関係の欠落

<園>
・朝と帰りの挨拶のときに、相手の顔ではない所を見て挨拶をする。表情もあまりない。・呼んでも聞こえていないようなときもある。
<家>
・視線の合いにくさは感じなかった。表情も豊か。呼んでも反応がうすい。
<検査場面>
・検査者を見て答えることが多い。
・その場に合っていないことをずっと話し続ける。・会話はかみあわないことが多い。・相手の話を聞くのが苦手。
・空想の世界に入ったり、ストーリーをつづやいて独り言を言ったりすることが多い。・コマーシャルのフレーズやテレビ

MC4	MC9	MC17	P3	P8
MC6	MC14	MC19	P5	P38
MC7	MC15	MC20	P7	P45

1c)人間関係を発展させ、維持し、それを理解することの欠陥

・園のできごとを報告することがあまりない。教えてくれるのは、クリスマスなどの大きなイベントのときくらい。誰とバスに乗ったの?ご飯食べたの?と聞いても「わからない」が多い。たまにあっても、事実と違っていることが多い。

・作った物や書いたものはよく見せにくる。

MC2	P2	P36	P41
MC5	P9	P37	P44
MC13	P35	P39	

1b)対人的相互反応で非言語的コミュニケーション行動を用いることの欠陥

・1歳児クラスるとき、集団行動を嫌がり一人外れて遊ぶことが多かった。絵本の読み聞かせ場面でも戦いっこをしたりしていた。
・現在(年中)でも、マイペースに行動することが多く、周りの状況を見て動くことが苦手。
・お正月にいとこが来た時も、みんなとでなく1人で遊んでいた。
・友達がいやがることを繰り返す。理由を説明してもきょんとした顔をしていることがよくある。
・妹の大事にしているものに興味を示し、ぱっととってしまう。妹が泣いてもやめない。

・妹に優しい面もある。パジャマを着せてくれたり。
・保育園の年下の子に遊ぶときはかわいがってくれる。

MC6	MC12	P1
MC7	MC23	P5
MC10		P44

(注)

MC:M-CHAT...P.7参照

P:PARS...P.8参照

行動、興味、活動の限定された反復的な様式

2a)常同的または反復的な身体の運動、物の使用、または会話

・家や園で、その場でくるくるまわる。

MC8	P10
MC18	P11
MC22	

2c)強度または対象において異常なほどきわめて限定され執着する興味

・友達集団に「いれて」と言ったとき、相手の子が「いいよ」と言っても、自分の意識した相手が言っていなければだめだと思ってしまう。
・買い物に行ったときに好きなお菓子を必ず買ったがる(仮面ライダーのグミ)。
・違いによく気づく。
・制作が好きだが、2時間でも続けてやめたがらない。思い通りにできないと泣いたり怒ったりする。

P46

2b)同一性への固執、習慣への頑ななこだわり、言語的・非言語的な儀式的行動様式

・自分で決めたことを変更するのが苦手。
・話すときに、舌打ちをしてリズムをとりながら話す癖がある。
・寝る時にはお気に入りのおもちゃを枕元に並べないと眠れない。
・癇癢はよく起こす。自分が思っていたことと違う状況になると、怒る。保育園に早く迎えにきてと言っていた日に遅くなった時にひっくり返って怒った。長くても20分くらい。
・園では、特になさそう。どうすればいいのかわからず、ぼーっとしていることはある。

P10
P11

2d)感覚刺激に対する過敏さ又は鈍感さ、又は環境の感覚的側面に対する並外れた興味

・乳児期から音に敏感だった。
・ジェットタオルの音が今も苦手。雷や花火は平気。運動会の音楽なども大丈夫。
・耳掃除は今も苦手。

MC11